

ひたち野

「会長就任にあたって」

茨城県中小企業青年中央会

会長 笠倉 勉

(茨城県電気工事業工業組合青年部会)



去る6月15日の第33回通常総会におきまして、佐藤前会長の後任といたしまして茨城県中小企業青年中央会の第17代会長に選任いただきました。当青年中央会の歴代会長はじめ、会員の皆様方が築き上げてきた伝統と歴史を尊重し、当会の更なる発展のため全力を尽くす所存です。

さて、我が国経済は、アメリカのサブプライム問題に端を発した金融危機による世界同時不況の影響を受け、「100年に一度」とも言われる戦後最大の危機的状況下にあります。

このような中、国においては、昨年度の2次にわたる補正予算に続き、過去最大規模となる大型補正予算を編成して、先行きがまったく見えない現状の打開を図るとともに、中小企業に対しても多角的に支援をしていくこととなっています。

このような時にこそ、若手経営者・後継者が結集した団体として、時代のニーズを的確に見極め、各々が関わる組合の活性化、業界の活性化、地域社会の活性化のために一致団結し、それぞれが求められている役割を十分に果たしていくことが、これまで以上に期待されています。

茨城県中小企業青年中央会はこれら県内青年部の活動を支援し、青年経営者の研鑽の場、更には県内の各組合青年部が、地域、業種の枠を超えて異業種交流できる場としての役割を積極的に果たしていきたいと思えます。青年中央会では、青年部ならではの機動性や柔軟性・創造性を十分に発揮できるような事業の企画・運営を、3つの委員会を主体として活動しています。

活動を通して会員同士が会員を知り、各組合を知り、組合の歴史を知り、お互いの仲間としての絆を大切にしていきたいと思えます。同じ目標をもって活動しあえる仲間、お互いに啓発し合える仲間、会員一人一人が仲間としての意識をもって活動して参りたいと思えます。また、良い事は継承し、時代のニーズを見極め、変えるべき事は見直していく事が必要となります。

今後、青年中央会が我々に何をしてくれるのではなく、我々がどのように青年中央会・各組合を活用するかに考えを変え、異業種間の情報交換を活発化させることで、ビジネスチャンスの発見の場、人的ネットワークの構築の場として、更には変革期の中で、躍進するための土台形成のきっかけをつかみ取って頂きたいと考えます。

最後になりますが、関係官庁をはじめ、友好団体、中央会、各組合青年部の皆様には青年中央会の運営に対する日頃のご支援とご協力に深く感謝申し上げますとともに、引き続きご支援とご協力をお願い致します。